

平成30年度

第1回 曾於保健医療圏地域医療構想調整会議 資料

〔報告及び説明事項〕

- 平成29年度第1回医療関係者専門部会開催結果 . . . 1
- 平成29年度病床機能報告集計結果（速報値） . . . 2
- 地域医療介護総合確保基金 . . . 3

〔協議事項〕

- 今年度の地域医療構想調整会議の進め方
 - ・これまでの開催実績 . . . 4-1
 - ・調整会議で協議を要する事項 . . . 4-2
 - ・すべての有床医療機関に対する調査様式 . . . 4-3
 - ・調整会議のスケジュール(案) . . . 4-4
- 病院の開設等に対し調整会議への出席を求める際の基準 . . . 5
- 1年以上の非稼働病棟を有する医療機関 . . . 6

(参考資料)

- 地域医療構想の進め方について . . . 7
(平成30年2月7日付け厚生労働省医政局地域医療計画課長通知)

医療関係者専門部会について

平成29年度第2回地域医療構想調整会議（H30.1.16 肝属と合同開催）で、次の資料により設置を決議

1 開催目的

地域医療構想は医療機関の将来計画のひとつの指針となるものであり、また、個々の医療機関の病床の増減・機能転換の積み上げにより各圏域で構想が推進されていくものである。

このため、構想の策定に当たり地域振興局に「地域医療構想懇話会」を設置し多くの医療関係者等の参加を得て協議を進めるとともに、構想の推進に当たっては、医療機関の自主的な取組及び医療機関をはじめとした関係者相互の協議を促進するために医療圏ごとに「地域医療構想調整会議」を平成29年1月に設置し、これまで各圏域2回の会議を開催したところである。

ついては、構想推進の主体である医療関係者に対し、改めて構想の周知を図るとともに、調整会議の協議への（委員を介した）参加意識を高めるため、医療関係者による説明・協議の場を設けることとしたい。

この説明・協議の場については、単なる説明会ではなく調整会議本体の協議につなげるため、各調整会議の専門部会として位置づけることとしたい。

2 部会の出席者

(1) 部会員

- ・ 郡市医師会
- ・ 代表性を考慮した病院・診療所，主な疾病に関する学識経験者
- ・ 市町長（調整会議設置要綱第8条により主管課長の代理出席も可）

(2) 関係者

- ・ 医療機関関係者（要綱第9条の関係者の出席の規定を適用）

“医療関係者専門部会”のイメージ

（参考：初回専門部会で示したイメージ図）



平成29年度第1回曾於保健医療圏地域医療構想調整会議 医療関係者専門部会 開催結果

日 時：平成30年2月28日(水) 19:00～20:30

場 所：曾於医師会立病院

出席者：専門部会員10名(代理2名含む。)

・曾於医師会長 ・曾於市課長 ・志布志市長 ・大崎町課長
・昭南病院長 ・曾於医師会立病院長 ・病院芳春苑院長
・びろうの樹脳神経外科院長 ・県民健康プラザ鹿屋医療センター院長
・大隅地域振興局保健福祉環境部長

医療関係者26名(16医療機関, 1医師会事務局)

事務局(地域振興局保健福祉環境部)

【内容】

1 議事・説明

- (1) 専門部会の設置について
- (2) 鹿児島県地域医療構想について
- (3) これまでの調整会議の開催状況について
- (4) 曾於保健医療圏の現状及び課題について

2 意見交換

【主な意見】

1-(1) 専門部会の設置について

部会長は肝付議長, 副部会長は吉田副議長で了承された。

1-(2)から1-(4)について

特になし

2 意見交換

[部会員]

- ・ 地域医療構想について改めて説明を聞いたが, 医師の多い都市部は病床を基準とすれば良いのだろうが, 医師の少ない曾於では将来の医療提供を左右するのは病床数ではなく医師数であり, 構想を進めれば良いというものではない。その問題に対応するため, 医療関係者の本音の話し合いが必要
- ・ 高度急性期が17床不足といわれてもそれを担える医師がいないのが実情で, 常勤医師の基準を緩和するなどの制度的な対応も必要
医師が自分の患者を他院に入院させることができるような制度も有効
- ・ 曾於は安心・安全な医療資源が備わっておらず, 都城, 鹿屋やドクターヘリに頼ることが必要。地域で対応といわれても, ない袖は振れない。
先般, 県医師会館で開催された「データから読み解く地域医療構想セミナー」(平成30年1月30日)でも, 講師から本県は概ね順調「ただし曾於以外は」と言われており, この打つ手のない状況に対し, 地域全体で安心・安全な地域医療

を考えることが必要

- ・ 現在は精神科を含まず議論が進められているが、実際には精神科を含むと更に深刻な状況
次の一手を出せない状況であり、関係者が一緒に考えることが必要
- ・ 志布志市からも鹿屋や都城への流出が多い状況
- ・ 地域の連携が必要で、鹿屋医療センターでも分野によっては民間の医療機関の医師が来院し手術を行うなど、スタッフ不足の課題に連携で有効に対応している。
- ・ 行政の立場からは、構想の目指す病床減が、医師の意欲に悪影響を与えることも懸念
- ・ 地元出身者が高齢者となり、医療・介護サービスが不足する都会から地元に戻るケースにも対応するためには、病床を減らすのはリスクあり。
- ・ 休床には、スタッフ不足が理由の場合もあることを考慮すべき。
- ・ 行政が把握している医療構想に関するデータは構造・設備などハード面が主であり、スタッフ不足などソフト面を含めた医療連携体制については、地域の現状や課題をはっきりさせた上で、医療機関が主体的に検討する必要がある。
- ・ 住民のためには、緊急医療体制が確保されることが極めて重要
- ・ 医療現場において病床機能は厳密に区別できるものではなく、構想の考え方だけで対応できるものではない。

[一般の医療関係者]

- ・ 構想が必要とする高度急性期や回復期の充実には、ずっと以前から取り組んできたが、実現は難しく、他地域に頼らざるを得ないのが実情
- ・ 現場では介護を含めてスタッフ不足の進行を切実に感じており、その課題への対応が重要
- ・ 医療関係者はお互いの経営をほぼ知らないのが実情であり、対外的にはクローズドの場で、医療関係者間はオープンに議論を交わす必要がある。
- ・ 医師が経営を行うのには限界があり、他地区への依存の問題も含め、市町の関与も期待したい。

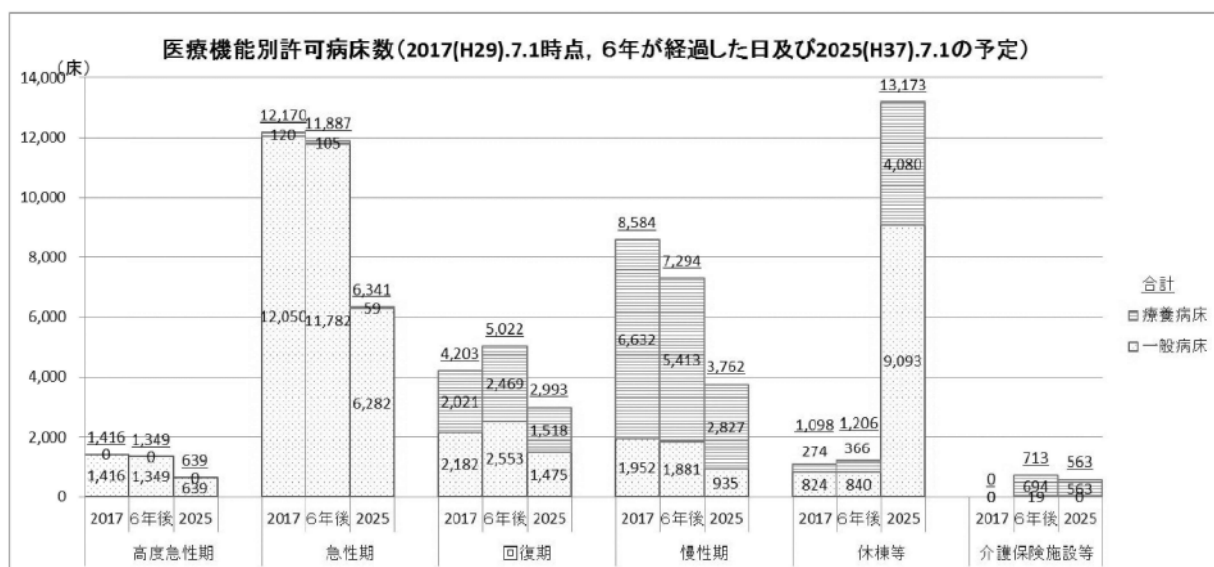
平成29年度病床機能報告について

平成29年度 本県医療機関による病床機能報告制度の報告状況

○病床数と病床機能に係る集計結果

報告対象となる病院208施設、有床診療所323施設のうち、平成30年2月16日までに、病院205施設(98.6%)、有床診療所296施設(91.6%)が報告。

平成30年2月16日までに報告があり、病床数、医療機能に関する報告項目に不備がなかった医療機関を対象として集計。(病院202施設、診療所277施設)



集計対象許可病床数 一般病床...18,424床、療養病床...9,047床 合計27,471床

提出率 (様式1: 医療機能, 構造設備, 人員配置等)

〔曾於〕病院: 100% (8/8) 診療所: 88.9% (8/9)

〔全県〕病院: 98.6% (205/208) 診療所: 91.6% (296/323)

※ 2025の予定について

2025の予定の報告は任意であるため、多くの医療機関が空欄で提出し、集計上、「休棟等」の「等」の部分に含めてカウントされている。

逆に言えば、2025の予定が立てられる医療機関が極めて少ないという状況が垣間見える。

病床数の現状(病床機能報告)と地域医療構想・基準病床数の比較

区分	病床機能結果報告 (各年7月1日現在の病床数)						地域医療 構想の病 床数 (2025・ H37) ③	現状病床数と 構想の比較		(参考) 基準 病床数	
	H27 (構想策定 時の現況 値)	H28	H29 (速報値)					対 H29 (①-③)	対 6年経過 後 (②-③)		
			現況 ①		6年経過後(H35・2023) 見込 ②						
			計	うち 療養病床	計	うち 療養病床					
曾於保健医療圏域	高度急性期	0	0	0	0	0	0	17	-17	-17	522
	急性期	374	393	383	6	323	6	125	258	198	
	回復期	35	16	35	16	95	16	249	-214	-154	
	慢性期	396	451	488	476	488	476	273	215	215	
	(稼働病床の計)	805	860	906	498	906	498	664	242	242	
	休棟等	54	72	123	70	123	70		123	123	
	介護保険施設等			0	0	0	0				
計	859	932	1,029	568	1,029	568	664	365	365		
肝属保健医療圏域	高度急性期	8	8	27	0	27	0	114	-87	-87	1,747
	急性期	1,231	1,177	1,181	12	1,108	12	450	731	658	
	回復期	374	429	389	170	534	202	570	-181	-36	
	慢性期	704	700	645	403	456	256	596	49	-140	
	(稼働病床の計)	2,317	2,314	2,242	585	2,125	470	1,730	512	395	
	休棟等	97	99	107	32	191	114		107	191	
	介護保険施設等			0	0	33	33		0	33	
計	2,414	2,413	2,349	617	2,349	617	1,730	619	619		
県全体	高度急性期	1,478	1,400	1,416	0	1,349	0	1,540	-124	-191	16,435
	急性期	12,174	12,343	12,170	120	11,887	105	5,534	6,636	6,353	
	回復期	3,769	4,055	4,203	2,021	5,022	2,469	7,048	-2,845	-2,026	
	慢性期	8,457	9,105	8,584	6,632	7,294	5,413	5,822	2,762	1,472	
	(稼働病床の計)	25,878	26,903	26,373	8,773	25,552	7,987	19,944	6,429	5,608	
	休棟等	882	1,177	1,098	274	1,206	366		1,098	1,206	
	介護保険施設等			0	0	713	694				
計	26,760	28,080	27,471	9,047	27,471	9,047	19,944	7,527	7,527		

【備考】

- 曾於保健医療圏の病院、有床診療所数(精神科医療機関を除く)：平成27・28年度:18力所、平成29年度:17力所
うち集計対象医療機関数：平成27年度:15力所、平成28年度:16力所、平成29年度:16力所
※ 医療機関の増減に関わらず、有効報告数の違いにより、集計に含まれる医療機関数に違いが生じている。
- 肝属保健医療圏の病院、有床診療所数(精神科医療機関を除く)：平成27年度:55力所、平成28年度:54力所、平成29年度:52力所
うち集計対象医療機関数：平成27年度:50力所、平成28年度:49力所、平成29年度:45力所
※ 医療機関の増減に関わらず、有効報告数の違いにより、集計に含まれる医療機関数に違いが生じている。

平成29年度病床機能報告結果【曾於医療圏域】(速報版)

【現状】

区分	医療機関	市町	2017(H29).7.1 現在						計	
			高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	介護保険施設等		
公立	(なし)									
公的	曾於医師会立病院	曾於	0	164	0	0	34	0	198	
その他	大山病院	志布志	0	0	0	100	0	0	100	
	中島病院	曾於	0	0	0	51	0	0	51	
	曾於医師会立有明病院	志布志	0	34	0	35	70	0	139	
	財部記念病院	曾於	0	0	0	87	0	0	87	
	昭南病院	曾於	0	93	0	51	0	0	144	
	高原病院	曾於	0	16	16	30	0	0	62	
	財部中央病院	曾於	0	0	0	96	0	0	96	
	病院計		0	307	16	450	104	0	877	
	診療所	塩川医院	曾於	0	0	0	19	0	0	19
		びろうの樹整形外科	志布志	0	19	0	0	0	0	19
	牧瀬内科クリニック	大崎	0	0	0	0	19	0	19	
	久木原医院	曾於	0	19	0	0	0	0	19	
	はるびゅうクリニック	大崎	0	0	0	19	0	0	19	
	びろうの樹脳神経外科	志布志	0	19	0	0	0	0	19	
	藤後クリニック	志布志	0	19	0	0	0	0	19	
	志布志中央クリニック	志布志	0	0	19	0	0	0	19	
	診療所計		0	76	19	38	19	0	152	
	計		0	383	35	488	123	0	1,029	
	基準病床数								522	

【見通し】

区分	医療機関	市町	2023.7.1 現在						計	
			高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	介護保険施設等		
公立	(なし)									
公的	曾於医師会立病院	曾於	0	164	0	0	34	0	198	
その他	大山病院	志布志	0	0	0	100	0	0	100	
	中島病院	曾於	0	0	0	51	0	0	51	
	曾於医師会立有明病院	志布志	0	34	0	35	70	0	139	
	財部記念病院	曾於	0	0	0	87	0	0	87	
	昭南病院	曾於	0	33	60	51	0	0	144	
	高原病院	曾於	0	16	16	30	0	0	62	
	財部中央病院	曾於	0	0	0	96	0	0	96	
	病院計		0	247	76	450	104	0	877	
	診療所	塩川医院	曾於	0	0	0	19	0	0	19
		びろうの樹整形外科	志布志	0	19	0	0	0	0	19
	牧瀬内科クリニック	大崎	0	0	0	0	19	0	19	
	久木原医院	曾於	0	19	0	0	0	0	19	
	はるびゅうクリニック	大崎	0	0	0	19	0	0	19	
	びろうの樹脳神経外科	志布志	0	19	0	0	0	0	19	
	藤後クリニック	志布志	0	19	0	0	0	0	19	
	志布志中央クリニック	志布志	0	0	19	0	0	0	19	
	診療所計		0	76	19	38	19	0	152	
	計		0	323	95	488	123	0	1,029	
	地域医療構想(2025)		17	125	249	273			664	
			高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	介護保険施設等	計	

公的医療機関だけで充足(高度急性期は急性期と合わせてカウント)